

2018.2/高知大学予想問題 2

地域の活力、地域の可能性を引き出すために必要なことは何だろうか。あなたからの提案を含め、あなたの考えを800字程度で述べよ。

現在、日本は人口減少社会に突入する一方で、東京大都市圏への一極集中が進み、地方はますます疲弊している。このような状況の中で、地域の可能性を見つけ出し、活力を引き出すにはどうすればよいのだろうか。

私は2つの視点が必要だと考える。内側から、つまり地域自らが自分をどうみるかという視点と、外側から、つまり地域がどう見られているかという視点だ。私は、地域の可能性に気づかせてくれる外側の視点も重要だと考える。

そこで、私は「まちづくり体験」プログラムを提案したい。これは都市の一般市民に地域づくりに参加してもらうことを主眼にしている。多くの自治体が東京などに事務所やアンテナショップを設けている。その機能を拡充して、地域の人々とその地域に関心のある都会の一般市民と議論し、事業を企画立案する場を提供する。さらに、実際に都市の市民が地域を訪問し、可能なら長期滞在し、2～3年かけて事業の実施に関わる。そういう参加型プログラムだ。

都市と地方は別物として議論されがちだ。しかし、都市の内部をよく観察すると、市民に開放された農園があり、ホームセンターの花野菜コーナーが賑わい、マンションのベランダを家庭菜園にしている人がいる。また、ふるさと納税制度を利用して、自分の出身地に納税する人が年々増えている。

考えてみると、都市部の人たちは地方の人々の子どもであったり、孫であったり、親戚であったりすることが多い。地域に友だちや知り合いもいる。地方や地域の現状に強い関心を持っているのは当然だ。私は、こういう外部の視点をまちづくりに活用すべきだと考える。それは長い目で見れば、まちづくりを成功に導くことになるはずだ。